



アジア国際法学会 (<http://law.nus.edu.sg/asiansil/>)

- 2007年4月に設立されたアジア国際法学会は、以下の目的を持つ非党派、非営利、非政府の組織です。
- a. アジアと他の地域における国際法学者および実務家の活動のセンターとして機能することにより、国際法の研究、教育、実務を促進する。
 - b. 国際法のアジア的視点を醸成し、奨励する。
 - c. アジアにおける国際法の認識と尊重を促進する。

こうした目的のために、アジア国際法学会は、会議、地域および準地域的なセミナー、ワークショップ、その他の会合を組織すること、本学会において組織された会議の議事録を含む学会のための出版事業を行うこと、国際法分野におけるアジアにかかわる研究、学問的活動、他の発展に関連する情報を収集・流布することを、その任務としています。

役員

会長

小和田 恆（国際司法裁判所所長）

副会長

R. P. アーナンド（ジャワハルラル・ネルー大学名誉教授）
大沼 保昭（明治大学特任教授）
トミー コー（シンガポール政策研究所所長）
劉 大群（旧ユーゴスラビア国際刑事裁判所判事）

事務局長

タン チェン ハン（シンガポール国立大学法学部長）

財務主任

原 壽（長島・大野・常松法律事務所代表弁護士）

会員資格・入会

国際法に関心があり、これを尊重し、アジア国際法学会の目的を支援するすべての個人および団体は、アジア国際法学会の会員となることができます。会費は30シンガポールドルで、2011年3月31日まで有効です。また、アジア国際法学会の主に日本における活動に協力し、これを促進する組織として、アジア国際法学会日本協会があります（<http://asiansil.web.fc2.com/>）。同協会の年会費は1,000円です。

アジア国際法学会への入会を希望される方は、次のURLからご登録ください。

<http://law.nus.edu.sg/asiansil/membership.htm>

アジア国際法学会日本協会への入会を希望される方は、次のURLからご登録ください。

<http://asiansil.web.fc2.com/membership.html>

東京大会への参加登録

東京大会への参加を希望される方は、次のURLよりご登録ください。
<http://www.asiansil-tokyo2009.com/registration.html>

登録料	下記リストの国・地域		その他の国・地域	
	一般	学生	一般	学生
2009年6月30日まで	10,000円	5,000円	5,000円	無料
2009年7月15日まで	15,000円	7,500円	7,500円	3,000円
7月16日から大会当日まで	20,000円	10,000円	10,000円	5,000円

アイスランド、アイルランド、アメリカ合衆国、イタリア、英国、オーストラリア、オーストリア、オランダ、カナダ、韓国、ギリシャ、シンガポール、スイス、スウェーデン、スペイン、スロバキア、台湾、チェコ、デンマーク、ドイツ、トルコ、日本、ニュージーランド、ノルウェー、ハンガリー、フィンランド、フランス、ベルギー、ポーランド、ポルトガル、香港、マカオ、メキシコ、ルクセンブルク
*上表のように、登録料は後になるほど高くなりますので、お早めにご登録ください。なお、この登録料には、次の費用が含まれています。①プログラム・報告資料代、②大会両日の昼食代、③大会第1日のレセプション代。

東京大会組織委員会 (<http://www.asiansil-tokyo2009.com/>)

共同代表：（五十音順）

小和田恆（国際司法裁判所所長）、香西茂（元国際法学会理事長）、
濱田邦夫（元最高裁判所判事）

副代表：

大沼保昭（明治大学特任教授）

事務局長：

荒木一郎（横浜国立大学教授）

委員：（五十音順）

青木節子（慶応義塾大学教授）、吾郷眞一（九州大学教授）、江尻隆（西村あさひ法律事務所弁護士）、大谷美紀子（大谷法律事務所弁護士）、坂元茂樹（神戸大学教授）、鈴木五十三（古賀総合法律事務所弁護士）、高村ゆかり（龍谷大学教授）、鶴岡公二（外務省国際法局長）、西海真樹（中央大学教授）、原壽（長島・大野・常松法律事務所代表弁護士）、藤田久一（関西大学名誉教授）、古谷修一（早稲田大学教授）、最上敏樹（国際基督教大学教授）

顧問：

櫻田嘉章（京都大学名誉教授）、鳥居淳子（前法制審議会会長）、長島安治（長島・大野・常松法律事務所弁護士）、野田愛子（元札幌高等裁判所長官）、平山正剛（前日本弁護士連合会会長）、柳井俊二（国際海洋法裁判所判事）、横田洋三（中央大学教授）

後援者

日本協会後援者：アンダーソン・毛利・友常法律事務所、伊藤見富法律事務所／モリソン・フォースター外国法事務弁護士事務所（外国法共同事業事務所）、大江橋法律事務所、古賀総合法律事務所、シティユーワ法律事務所、外国法共同事業・ジョーンズ・デイ法律事務所、曾我・瓜生・糸賀法律事務所、TMI総合法律事務所、長島・大野・常松法律事務所、西村あさひ法律事務所、森・濱田松本法律事務所、外国法共同事業法律事務所リンクレーターズ
東京大会後援者：朝日新聞社、安達峰一郎記念財団、外務省、濱田邦夫、フジ・メディア・ホールディングス

第2回アジア国際法学会東京大会

2009年8月1－2日 東京

「多極・多文明世界における国際法
アジアの視座、
アジアの課題、
アジアの貢献」

21世紀の世界は、20世紀に比して多極的で多文明的な世界になるでしょう。中国やインドは米国と並ぶ超大国となると予想されており、こうした力の多極化は、同時に文化や宗教など文明の総体における多様化をもたらすものと思われます。20世紀に欧米が主導してきた民主主義、人権、資本主義を中核とする近現代文明の価値と制度は21世紀を通じて地球的規模で浸透して行くでしょうが、他方で地球環境保護や人権と宗教の関係などの問題をめぐって欧米中心の文明を相対化するアジアやイスラム世界の声も高まって行くでしょう。多様性は生物の面でも文化の面でも保持し続けるべき貴重な価値とされており、21世紀の地球社会の多様化は力と価値の双方の面で進行するでしょう。

地球社会における力と価値がこのように変容していく中で、国際法秩序はどのように変容して行くのでしょうか。また、どのように変容すべきなのでしょう。この問題は、21世紀の人類が直面する重要な課題です。特に、21世紀の力と価値の多様化の中心的な担い手となるアジアの人々にとって、熟考すべき喫緊の課題です。

これまで欧米が主導してきた国際法秩序に対して、アジアの国々と人々は、国際法の諸制度を利用し、不都合な部分は批判するという受け身の姿勢にとどまってきました。しかし、経済的には欧米に匹敵し、文化や文明の面でも欧米に対等な主張を展開するアジアにとって、そうした受動的なあり方は許されません。21世紀の世界を支え、人類の共通の福利を実現する国際法のあり方について、思想と制度の両面において自らが提案し、具体的な制度の運営を通して国際法秩序のあり方に責任を負って行かなければなりません。

アジア国際法学会は、第2回大会を東京で開催するにあたり、国際法秩序へのアジアのかかわり方というこの重要な問題を、「多極・多文明世界における国際法——アジアの視座、アジアの課題、アジアの貢献——」という統一テーマの下に採り上げます。大会には学識と経験、さらに若々しいチャレンジ精神をもつ国際法学者・実務家が全世界から参加し、学び合い、論じ合い、世界に発信します。この大会が、あらゆる前提を疑い、地球社会の法と現実を正確に認識し、建設的な提言がなされる場となるよう、多くの方々の御参加を心から願っております。

第2回アジア国際法学会東京大会組織委員会

大会プログラム（会場：東京大学 本郷キャンパス）

第1日：8月1日（土）

公開フォーラム：アジアの挑戦—多極化世界の法と価値（10:00～12:30）	
使用言語：日本語／英語（同時通訳付き）	
パネリスト：	
小和田 恆	（国際司法裁判所所長）
薛 悍勤	（国連国際法委員会委員）
イーディス ブラウン-ワイス	（ジョージタウン大学教授）
最上 敏樹	（国際基督教大学教授）

昼 食	（12:30～14:00）
------------	---------------

開 会 式	（14:00～15:00）
--------------	---------------

全体会合Ⅰ：多極・多文明世界における国際法（15:00～18:00）	
基調報告者	
マルティ コスケニエミ	（ヘルシンキ大学教授）
薛 悍勤	（国連国際法委員会委員）
B. S. チムニー	（ジャワハルラル・ネルー大学教授）
イーディス ブラウン-ワイス	（ジョージタウン大学教授）
討論者は公募し現在選考中	

レセプション	（18:30～19:30）
---------------	---------------

第2日：8月2日（日）

分科会 A（6分科会同時開催）	（9:30～11:00）
------------------------	--------------

A - 1	力
A - 2	文化／文明
A - 3	歴史
討論者は公募し現在選考中	

A - 4	法律の抵触と裁判所の選択に関するアジアの視点
座 長：アレハンドロ カルバロ （ローターバクト国際法センター客員研究員）	
パネリスト：グレアム ジョンストン （ハーバート・スミス法律事務所（上海）弁護士）	
スク クワンヒョン （ソウル国立大学教授）	
陳 衛佐 （清華大学副教授）	
手塚 裕之 （西村あさひ法律事務所弁護士）	

A - 5	海洋と海洋法
座 長：メアリー ジョージ （マラヤ大学教授）	
基調報告者：ニコラオス チャラランボウス （国際海事機関海洋安全保障部長）	
パネリスト：モハマッド ニザム バシロン （マレーシア海事研究所研究員）	
デイヴィッド フリーストーン （ジョージ・ワシントン大学教授）	
ロビン ワナー （オーストラリア国立海洋センター上級研究員）	

A - 6	ルールの受容者・攪乱者からルールの作成者へ—日本、中国、韓国は国際経済法の新たな規範をいかに形成したか
座 長：松下 満雄 （元WTO上級委員会委員）	
パネリスト：アン ドックン （ソウル国立大学准教授）	
サーディア ペッカネン （ワシントン大学教授）	
（高 樹超（シンガポール経営大学准教授）も討論に参加）	

分科会 B（5分科会同時開催）	（11:15～13:00）
------------------------	---------------

B - 1	投資協定仲裁
座 長：濱本 正太郎 （京都大学教授）	
基調報告者：マイケル ホアン （シンガポール最高裁判所上級弁護士）	
パネリスト：ロメシュ ウィーラマントリ （香港城市大学講師）	
オマール ガルシア-ボリヴァル （BGコンサルティング代表）	
早川 吉尚 （立教大学教授）	

B - 2	国際刑事裁判所に対するアジアの視点
座 長：劉 大群 （旧ユーゴスラビア国際刑事裁判所判事）	
基調報告者：ラウル バンガラング （フィリピン大学教授）	
パネリスト：ネハ ジャイン （マックスプランク外国法・国際刑法研究所研究員）	
野口 元郎 （カンボジア特別法廷国際判事）	

B - 3	国際法における立憲主義と機能主義
座 長：吾郷 真一 （九州大学教授）	
パネリスト：トム ギンズバーク （シカゴ大学教授）	
サイモン チェスターマン （シンガポール 国立大学准教授）	
（マルティ コスケニエミ（ヘルシンキ大学教授）も討論に参加）	

B - 4	国内裁判所における国際人権法と人道法
座 長：申 恵丰 （青山学院大学教授）	
パネリスト：バク チャヌン （漢陽大学副教授）	
ボール リシュワース （オークランド大学法学部長）	
王 志安 （駒澤大学教授）	

B - 5	地球温暖化の国際制度とアジアにおける持続可能な発展
座 長：高村 ゆかり （龍谷大学教授）	
基調報告者：ラヴァニャ ラジャマニ （インド政策研究センター准教授）	
王 雪漫 （世界銀行上級法律顧問）	
パネリスト：太田 穰 （長島・大野・常松法律事務所弁護士）	
シャーリー スコット （ニュー・サウス・ウェールズ大学准教授）	

昼 食	（13:00～14:15）
------------	---------------

分科会 C（3分科会同時開催）	（14:15～16:15）
------------------------	---------------

C - 1	国際貿易紛争と国際投資紛争の解決における透明性
座 長：中川 淳司 （東京大学教授）	
基調報告者：フロレンティーノ P. フェリシアーノ （元WTO上級委員会委員）	
パネリスト：高 樹超 （シンガポール経営大学准教授）	
ピーター ララス （世界銀行査察バネル事務局長）	
C. L. リム （香港大学教授）	

C - 2	フェミニズム国際法学と女子差別撤廃条約の30年
座 長：阿部 浩己 （神奈川大学教授）	
基調報告者：ヒラリー チャールズワース （オーストラリア国立大学教授）	
パネリスト：ピュリフィカシオン キサンビン （国連人権理事会諮問委員会委員）	
シン ヘイスー （女子差別撤廃委員会委員）	

C - 3	アジアにおける人間の安全保障
座 長：マルカンデイ カトゥージュ （インド最高裁判所判事）	
佐藤 安信 （東京大学教授）	
基調報告者：トム ファーラー （デンバー大学国際学部長）	
パネリスト：旭 英昭 （東京大学教授）	
シャロン オン スー ミン （シンガポール法務府法律顧問）	
コン テイリー （名古屋大学准教授）	
ティー チュイ ヴァン ディン （リモージュ環境計画法學際センター）	
アラン マッキー （ニュージーランド難民地位裁判所所長）	

総 会	（16:30～17:00）
------------	---------------

全体会合Ⅱ：総括と展望	（17:00～18:30）
--------------------	---------------

基調報告者：R. P. アーナンド （ジャワハルラル・ネルー大学名誉教授）	
トミー コー （シンガポール政策研究所所長）	
アブドゥル G. コロマ （国際司法裁判所判事）	
ヒラリー チャールズワース （オーストラリア国立大学教授）	
長濱 毅 （アンダーソン・毛利・友常法律事務所弁護士）	
エレヌ リューイズ ファブリ （欧州国際法学会会長）	

開 会 式	（18:30～19:00）
--------------	---------------

ガラ ディナー	（19:45～21:45）
----------------	---------------